

令和6年上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年上半期分について、輸出額は「自動車」、「自動車の部分品」などが増加したことから、対前年同期比10.7%の増加となった。また、輸入額は「自動車」、「自動車の部分品」などが増加したことから、同1.4%の増加となった。

その結果、差引額は4兆0,886億円（同20.5%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成10年上半期以降 53期連続 全国港別（空港を含む）第1位。
名古屋港における輸出額、輸入額、差引額いずれも上半期として過去最高。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による。

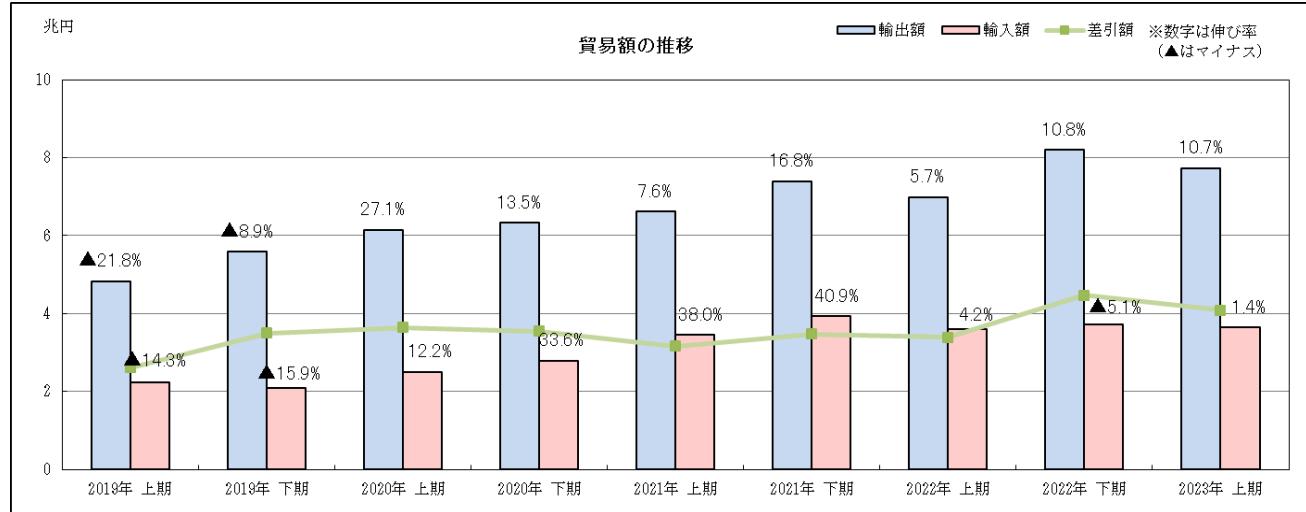
また、名古屋港における全ての期を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年上半期以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	7兆7,352億円	+10.7%	3兆6,466億円	+1.4%	4兆0,886億円	+20.5%
	7期連続の増加			2期ぶりの増加		3期連続の増加
	順位 過去 2位	上半期として 1位	順位 過去 3位	上半期として 1位	順位 過去 2位	上半期として 1位
管 内（名港シェア）	12兆1,516億円 (63.7%)		6兆8,242億円 (53.4%)		5兆3,273億円 (—)	
全 国（名港シェア）	51兆5,169億円 (15.0%)		54兆7,514億円 (6.7%)		▲3兆2,345億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸 増 (1)	自動車	2兆2,673億円	+7.7%	+2.3	7期連続の増加
	自動車の部分品	1兆0,371億円	+14.3%	+1.9	2期連続の増加
輸 増 (1)	自動車	603億円	+849.3%	+1.5	2期連続の増加
	自動車の部分品	1,372億円	+22.6%	+0.7	7期連続の増加



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。